

県内景気動向調査(2022年10-12月実績、2023年1-3月見通し)

— 県内景気は緩やかに回復している —

株式会社海邦総研(代表取締役社長:新垣学)はこのたび、県内景気動向調査を実施しました。その結果をご報告いたします。

【全体概要】

■ 現状判断

今期(2022年10-12月)の県内企業の景況判断BSIは21.2で「上昇」超。各種イベントの再開や、全国旅行支援の実施により観光客が大きく戻るなどで県内外の需要が回復し、広く産業を下支えたことから「県内景気は緩やかに回復している」。

来期(2023年1-3月)の景況見通しBSIは5.8で「上昇」超。ただし、依然として世界情勢不安やコロナ禍の収束が見通せない状況があり、さらに、原料高騰や人手不足問題などが、より顕在化する可能性もあるなど、下振れリスクが大きい状況が続くと考えられる。

【業種別概要】

■ 観光関連 [観光は引き続き大きく回復 旅行支援への期待大きく]

- 全国旅行支援の奏功により、入域観光客数が大きく回復し、10-12月期の旅行・宿泊業のBSIは51.4と大きく「上昇」超となった。仕入れ価格の高騰と、人手不足が引き続き大きな課題となっている。1-3月期の見通しは、旅行支援の終了を懸念し、-13.5で、「下降」超となっている。

■ 建設・不動産関連 [建設は3Qぶり「上昇」超、非居住用が回復]

- 10-12月期のBSIは、建設業が3.1、不動産業等が-3.6と、両業種の景況感に分かれた。10-11月の着工建築物工事費予定額は直近5年で最も高い金額に達していて、活況を取り戻しつつある。特に非居住用が伸びた。1-3月期の見通しは建設10.9、不動産業等21.4と、ともに「上昇」超となっている。

■ 卸売・小売、飲食サービス [「上昇」も、特に卸・小売で経常収支減に懸念]

- 10-12月期BSIは卸売・小売業が4.1、飲食サービス業が42.9で共に「上昇」超。実店舗を持つ企業においては、電気代値上がりなどが経常収支を大きく圧迫する見通しがあり、抜本的な対策が求められる。

【雇用】

■ 従業員数 [労働需要は引き続き高止まり]

- 10-12月期の従業員BSIは47.0で大きく「不足」超となっている。全体として「不足」超で、特に情報通信業、旅行・宿泊業、その他のサービス業、飲食サービス業、医療・福祉、建設業などで大きく「不足」超となっている。

※本調査実施時点において、2022年末以降の旅行支援実施に関する方針は示されていない。

《本調査の問い合わせ先》

株式会社 海邦総研 (担当:地域経済調査部 瀬川、当銘)

〒900-0015 那覇市久茂地 2-9-12-4F TEL:098-869-8724

I 県内企業の景況判断 BSI

■ 現状と見通し

- 実績(2022年10-12月期)
 - 全体の景況判断 BSI(実績)は、21.2 で「上昇」超
- 見通し(2023年1-3月期)
 - 全体の景況判断 BSI(見通し)は、5.8 で「上昇」超

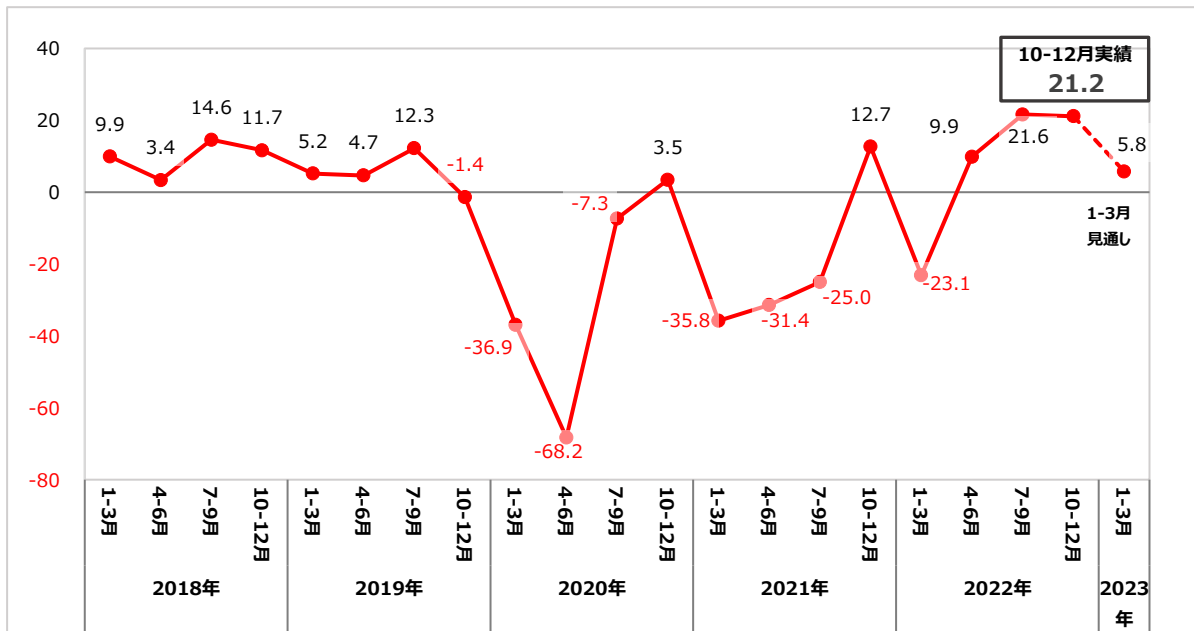
■ 主要業種別結果

- 実績(2022年10-12月期)
 - 「上昇」超は、旅行・宿泊業(51.4)、飲食サービス業(42.9)、製造業(42.1)、その他のサービス業(34.3)、医療・福祉(21.1)、情報通信業(21.1)、卸売・小売業(4.1)、建設業(3.1)、となっている。
 - 「下降」超は、不動産業等(-3.6)となっている。
- 見通し(2023年1-3月期)
 - 「上昇」超は、不動産業等(21.4)、その他のサービス業(21.4)、情報通信業(15.8)、建設業(10.9)、飲食サービス業(7.1)、医療・福祉(5.3)、となっている。
 - 「下降」超は、旅行・宿泊業(-13.5)、製造業(-10.5)、卸売・小売業(-4.1)となっている。

■ 企業の景況判断BSI (前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

	時期	2021年		2022年			2023年	
		10-12月期	1-3月	4-6月期	7-9月期	10-12月期	10-12月	1-3月
		実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)
企業種別		12.7	-23.1	9.9	21.6	8.5	21.2	5.8
建設業		-9.6	13.1	-18.1	-1.5	2.9	3.1	10.9
製造業		11.8	-36.6	5.3	20.0	6.7	42.1	-10.5
情報通信業		4.8	0.0	0.0	-5.0	20.0	21.1	15.8
卸売・小売業		11.7	-22.4	4.0	28.0	12.0	4.1	-4.1
不動産業等		-15.6	6.1	17.1	14.3	3.6	-3.6	21.4
旅行・宿泊業		44.1	-41.7	58.1	73.5	8.8	51.4	-13.5
飲食サービス業		57.9	-71.4	40.0	33.3	-14.3	42.9	7.1
医療・福祉		-4.3	-43.8	-14.3	-9.1	-4.5	21.1	5.3
その他のサービス業		26.1	-36.0	20.0	29.5	18.2	34.3	21.4
資本金別	1000万円未満	19.2	-26.6	19.4	19.3	0.9	12.4	1.0
	1000～5000万円未満	5.2	-17.5	4.7	21.7	12.3	25.4	9.0
	5000万～1億円未満	32.0	-33.3	6.3	27.3	15.9	35.4	6.3
	1億円以上	16.7	-25.0	17.1	30.0	-5.0	25.0	4.2
従業員数別	10人未満	-1.0	-16.0	14.3	8.7	-1.9	11.3	9.3
	10～19人	4.7	-26.1	0.0	34.8	12.1	29.5	8.2
	20～49人	15.7	-25.5	4.7	23.6	11.1	21.7	3.3
	50～99人	16.1	-26.9	20.4	11.1	29.6	24.2	12.9
	100人以上	32.7	-29.1	20.3	30.5	8.5	36.4	-27.3
地域別	本島北部地区	0.0	-37.2	-2.6	5.9	11.8	19.4	6.5
	本島中部地区	12.3	-20.4	5.4	16.7	8.6	15.6	10.9
	本島南部地区	21.3	-16.4	0.0	15.9	4.3	22.4	3.4
	那覇地区	17.9	-19.4	19.0	30.8	15.4	30.9	3.2
	離島地区	0.0	-43.3	38.7	45.5	-9.1	17.6	-5.9

■ BSI 推移



2 各業界別総評

県内の業界別等の概要は以下の通りである。

観光関連 [観光は引き続き大きく回復 旅行支援への期待大きく]

旅行・宿泊関連の今期(10-12月)の景況判断 BSI は 51.4 となり、前期(73.5)に引き続き、大きく「上昇」超となった。BSI の上昇は、繁忙期である夏休み終了後の 10 月から、政府による需要喚起策「全国旅行支援」が実施されたことが、要因として大きい。

入域観光客数は 10 月、11 月共に 60 万人以上と、国内客数の水準としてはコロナ禍前の 2019 年を超えて推移。さらに 11 月からはまとまった数の外国客も見られ始め、個人旅行だけでなく、団体旅行が催行される様子も見受けられる。アンケート結果においても、県内市場、県外市場、海外市場共に大きな回復傾向を示しており、全体としてマインドの回復が見られる。

事業者視点で見ると、宿泊関連へのヒアリングからは「市場は回復しているものの、依然として供給過剰の状況にある」との声があり、顧客分散の現状があるようだ。他方、一部の分野においては、マインドが回復する中での「リベンジ消費」の受け皿となり、大きく業績を回復させている事業者も見られる。

企業における課題としては、引き続き「仕入れ価格高騰」「人手不足」が大きく、アンケートでも顕著な結果となった。仕入れ価格の問題に関しては、価格転嫁を進める企業があり、コロナ禍において大きく下がっていた販売価格が回復する動きにつながっている様子が見られる。また、人手不足については、臨時・パートの雇用で人員体制を補完している状況が、アンケート結果からうかがえる。

来期(1-3月)の見通しは-13.5 で「下降」超。県内市場、県外市場共に「下降」で、海外市場のみ「上昇」の見通しであった。調査時点においては、2022 年末以降の全国旅行支援の実施情報が公開されておらず、年末以降の予約が全く動いていないとの危惧が聞かれていた。こうした状況を受けての「下降」判断であると考えられ、観光業界では、旅行支援への期待が非常に大きくなっていることが分かる。

建設・不動産関連 [建設は3Qぶり「上昇」超、非居住用が回復]

10-12月期のBSIは、建設業が3.1、不動産業等が-3.6と、両業種の景況感に分かれた。10-11月の居住用と非居住用の合計着工建築物工事費予定額は直近5年で最も高い金額に達していて、活況を取り戻しつつある。特に宿泊業や飲食サービス業、学校教育用、医療業など非居住用建築物が伸びた。他方、住宅建設に関して持ち家と貸家、分譲住宅が軒並みで前年と比べて減少している。とりわけ、マンションの落ち込みは大きい。

2023年10-11月の県内の建設業に関連する統計を見ると、建築着工全体の工事予定費は前年比で6%増、前々年比で47%増と増加している。そのうち居住用は前年比で7%減、前々年比で7%減と減少している。一方、非居住用は前年比で16%増、前々年比で108%増と回復の傾向が見られた。

完工高上位の企業へのヒアリングでは「10-12月は想定以上に引き合いが多い。当社だけでは現場代理人を確保できない可能性も出てきた」などの声が聞かれていて、県外資本を中心に民間投資が再開していることがうかがえる。他方、アンケートの自由意見の中には「仕入価格の上昇、人件費の上昇による利益率の低下(が生じている)」「仕入価格上昇が特にひどくて、今後の動向が読めない」などコスト上昇が続いていることに対し、先行きの不透明感を懸念する声も多く上がっている。

景況持ち直しに伴い、建設業の人手不足感もあらためて強く現れている。自由意見では「建設業の労働力低下が著しく、若者の雇用を定着させる事が喫緊の課題だ」「若者の人材育成がなかなか進まない」など若年者の雇用・定着を課題に感じる声が上がっている。

不動産売買に関しては「物件の動きが出てきている」「県内の不動産価格は上昇の一途だ」などの声が聞かれた。県不動産鑑定士協会のDIレポートによると、先島地区(石垣市や宮古島市など)では住宅地、商業地ともに+60P超の結果になっていて、先島で不動産の強い引き合いが継続していることがうかがえる。

観光回復に伴う民間投資が続くことへの期待から、1-3月期の見通しは建設10.9、不動産業等21.4と、共に「上昇」超となっている。

卸売・小売、飲食サービス [全体として「上昇」超も特に卸・小売で経常収支減に懸念]

今期(10-12月)の卸売・小売業の景況判断 BSI は 4.1 と小幅な上昇に留まった。アンケート結果では、県内市場、県外市場、海外市場共に回復を示した一方、仕入れ価格高騰が顕著で、経常利益を圧迫したことなどが要因と推察される。

来期(1-3月)の見通しは-4.1 で「下降」超。今期実績同様に、コスト高および経常収支圧迫を懸念した結果となった。併せて、調査時点では全国旅行支援の継続が不透明であったことから、全国旅行支援終了による観光客減なども懸念した結果であると推察される。

今期(10-12月)の飲食サービス業の BSI は 42.9 で、大きく「上昇」超となった。全国旅行支援の実施により、観光客が回復し、店舗集客に寄与したことが要因と考えられる。他分野同様、仕入れ価格の高騰が課題となっており、本アンケートにおいては、全ての飲食サービス企業が「上昇」と回答している。来期(1-3月)の見通しは 7.1 で、小幅ながらも「上昇」超。特に海外市場回復への期待が大きくなっている。

なお、店舗のヒアリングからは「今後の電気料金の値上がり分だけで、営業利益よりも大きくなる。今後は赤字必須」との声があった。多くの事業所において、同様の状況があると考えられ、今後、全体としてコスト高に対する抜本的な対策が求められる。

雇用 [従業員数は人手不足感が強まる、臨時・パートは若干増加]

【従業員】

今期(10-12月)の従業員 BSI は 47.0 で大きく「不足」超となっている。不動産業等を除き、いずれの業種も大きく「不足」超となっており、特に情報通信業、旅行・宿泊業で「不足」超幅が大きくなっている。

来期(1-3月)の従業員の見通し BSI は 45.6 で大きく「不足」超となっている。不動産業等を除き、いずれの業種も大きく「不足」超となっており、特に情報通信業、旅行宿泊業で「不足」超幅が大きくなっている。

【臨時・パート】

今期(10-12月)の臨時・パートの BSI は 3.8 で「増加」超となっている。製造業、その他のサービス業、飲食サービス業などで「増加」超幅が大きくなっている。

来期(1-3月)の臨時・パートの見通し BSI は 1.4 で若干「減少」超となっている。飲食サービス業で特に「増加」超幅が大きくなっている。旅行・宿泊業、卸売・小売業で「減少」超幅が大きくなっている。

3 調査概要および調査対象について

調査の対象、調査方法、回収率等は以下のとおり。

調査概要

項目	内容
調査対象	県内に本社所在地がある2000企業に発送した。 ただし調査対象有効企業数は、宛先不明として返送されてきた17企業を除いた1983企業。
抽出方法	信用調査会社などから提供を受けた。その際、業種、地域については、経済センサス調査基礎調査結果と偏りが少なくなるよう考慮して抽出した。そのほか、各種公開情報等を参考にして発送先を選定した。
調査方法	郵送により調査票を配布・回収 ※一部インターネットによる回答・回収
調査期間	2022年12月1日に調査票を発送し、12月28日到着分までを集計
回収状況	有効回収数:364通(有効回答率:18.4%)

弊社が取りまとめた、県内企業の各種 BSI(Business Survey Index)の算出方法は、以下のとおりである。

$$BSI = (\text{「上昇」と回答した企業構成比}) - (\text{「下降」と回答した企業構成比})$$

なお、BSI は景気の現状や先行きを「上昇」・「下降」といった前期と変化した方向で判断する指標である。BSI がプラスであれば、企業の景況や各種項目が前期と比較して好調であるということであり、BSI がマイナスであれば、景況や各種項目が前期と比較して不調と考えられる。

また、本調査は、比較的、小規模事業所までも網羅した調査となっている点が特徴である。

- ※ 本文中における、カッコ内()の数値は単位が特に記載されていない場合は、その業種、分野の BSI を示す。
- ※ 調査結果について、回答した割合を小数第二位で四捨五入しているため、各項目の合計が 100%にならない場合がある。
- ※ 複数回答の場合は、構成比(パーセント計算)の和が 100.0 を超えるものがある。
- ※ 統計表において n はサンプル数を表す。

4 調査結果詳細

回答企業属性

回答企業総数は402社。構成比は以下の通りとなっている。

■ 業種別

業種	回答数 (n=364)	構成比 (%)
農業、林業、漁業	0	0.0
建設業	64	17.6
製造業	38	10.4
情報通信業	19	5.2
卸売・小売業	74	20.3
不動産業	28	7.7
旅行・宿泊業	37	10.2
飲食サービス業	14	3.8
医療、福祉	19	5.2
その他のサービス業	70	19.2
その他	1	0.3
無回答	0	0.0

■ 資本金別

資本金	回答数 (n=364)	構成比 (%)
1000万円未満	97	26.6
1000万円～5000万円未満	177	48.6
5000～1億円未満	48	13.2
1億円以上	24	6.6
無回答	18	4.9

■ 従業員数別

従業員数	回答数 (n=364)	構成比 (%)
10人未満	103	25.6
10~19人	66	16.4
20~49人	144	35.8
50~99人	27	6.7
100人以上	59	14.7
無回答	3	0.7

■ 地域別

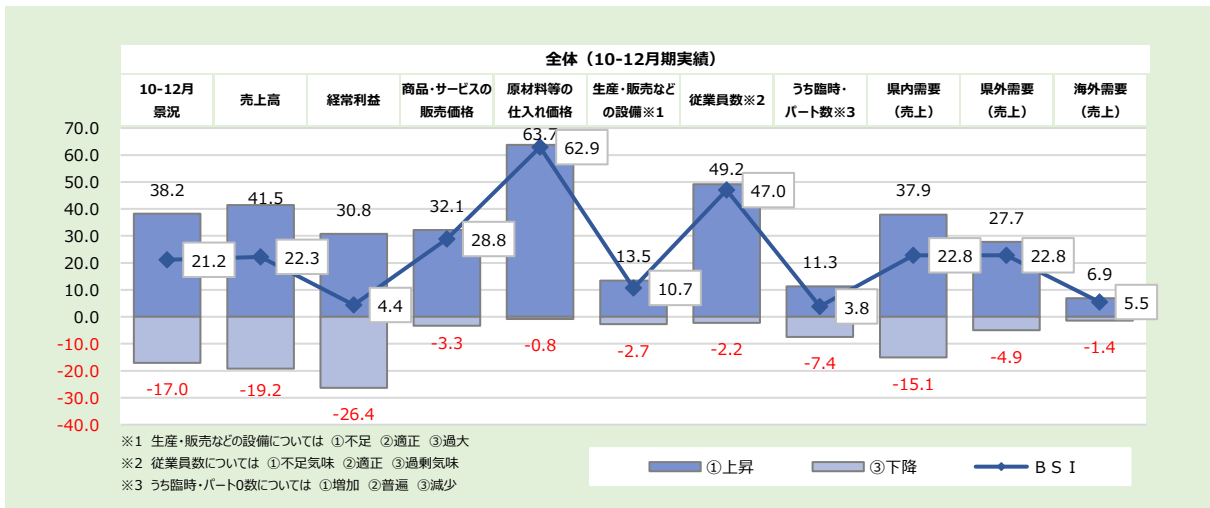
所在地域	回答数 (n=364)	構成比 (%)
北部	31	8.5
中部	147	40.4
南部	58	15.9
那覇	94	25.8
離島	34	9.3
無回答	0	0.0

■ 売上先マーケット別

売上先	回答数 (n=364)	構成比 (%)
県内売上50%以上	326	89.6
県外売上50%以上	68	18.7
海外売上20%以上	4	1.1

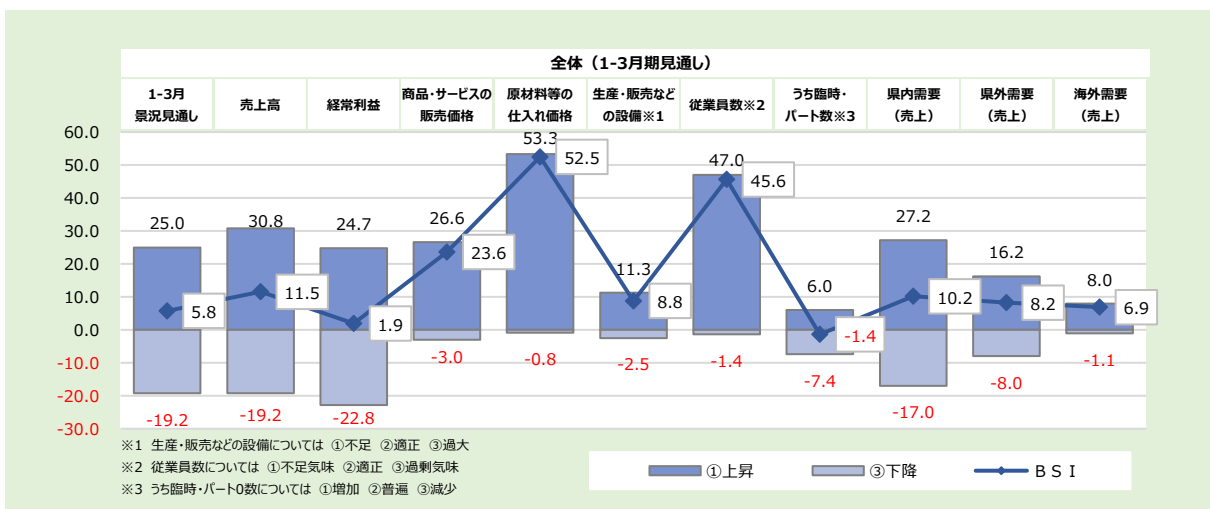
■ 2022年10-12月期の現状(2022年7-9月期との比較) BSI 全体 実績

- 10-12月期の景況 BSI は 21.2 で「上昇」超。売上高、経常利益共に「上昇」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超。仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は「増加」超となっている。
- 県内需要、県外需要は共に「上昇」超。海外需要も若干「上昇」超となっている。



■ 2023年1-3月期の見通し(2022年10-12月期との比較) BSI 全体 見通し

- 1-3月期の景況見通しは 5.8 で「上昇」超。売上高は「上昇」超、経常利益共は若干「上昇」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超。仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は若干「減少」超となっている。
- 県内需要、県外需要、海外需要共に「上昇」超となっている。



■ 2022年10-12月期の景況判断要因 全体 景況判断要因

- 10-12月期の景況について「上昇」とした139社における景況上昇の要因は、「県内需要の動向」(74.1%)が最も多く、次いで「県外需要の動向」(51.8%)、「販売価格の動向」(20.9%)が続いた。

10-12月期景況の上昇要因

景況判断要因(上昇)	回答数 (n=139)	構成比 (%)
県内需要(売上)の動向	103	74.1
県外需要(売上)の動向	72	51.8
海外需要(売上)の動向	13	9.4
販売価格の動向	29	20.9
仕入れ価格の動向	18	12.9
仕入れ以外のコストの動向	10	7.2
資金繰り・資金調達の動向	3	2.2
株式・不動産等の資産価格の動向	5	3.6
為替レートの動向	2	1.4
その他	3	2.2
無回答	0	0.0

- 「下降」とした62社における景況下降の要因は、「県内需要の動向」(67.7%)が最も多く、「仕入れ価格の動向」(53.2%)、「販売価格の動向」(29.0%)、「仕入れ以外のコストの動向」(22.6%)が続いた。

10-12月期景況の下降要因

景況判断要因(下降)	回答数 (n=62)	構成比 (%)
県内需要(売上)の動向	42	67.7
県外需要(売上)の動向	8	12.9
海外需要(売上)の動向	3	4.8
販売価格の動向	18	29.0
仕入れ価格の動向	33	53.2
仕入れ以外のコストの動向	14	22.6
資金繰り・資金調達の動向	7	11.3
株式・不動産等の資産価格の動向	1	1.6
為替レートの動向	3	4.8
その他	5	8.1
無回答	0	0.0

■ 2023年1-3月期の景況見通し判断要因 全体 景況見通し判断要因

- 1-3月期の見通しを「上昇」とした91社における上昇要因は、「県内需要の動向」(73.6%)が最も多く、次いで「県外需要の動向」(54.8%)、「販売価格の動向」(21.0%)が続いた。

1-3月期景況の見通し：上昇要因

景況見通し判断要因（上昇）	回答数 (n=91)	構成比 (%)
県内需要（売上）の動向	67	73.6
県外需要（売上）の動向	34	54.8
海外需要（売上）の動向	7	11.3
販売価格の動向	13	21.0
仕入れ価格の動向	11	17.7
仕入れ以外のコストの動向	6	9.7
資金繰り・資金調達の動向	4	6.5
株式・不動産等の資産価格の動向	2	3.2
為替レートの動向	2	3.2
その他	4	6.5
無回答	0	0.0

- 「下降」とした70社における下降要因は、「県内需要の動向」が64.3%で最も多く、次いで「仕入れ価格の動向」(40.0%)、「県外需要の動向」(37.1%)、「仕入れ以外のコストの動向」(20.0%)が続いた。

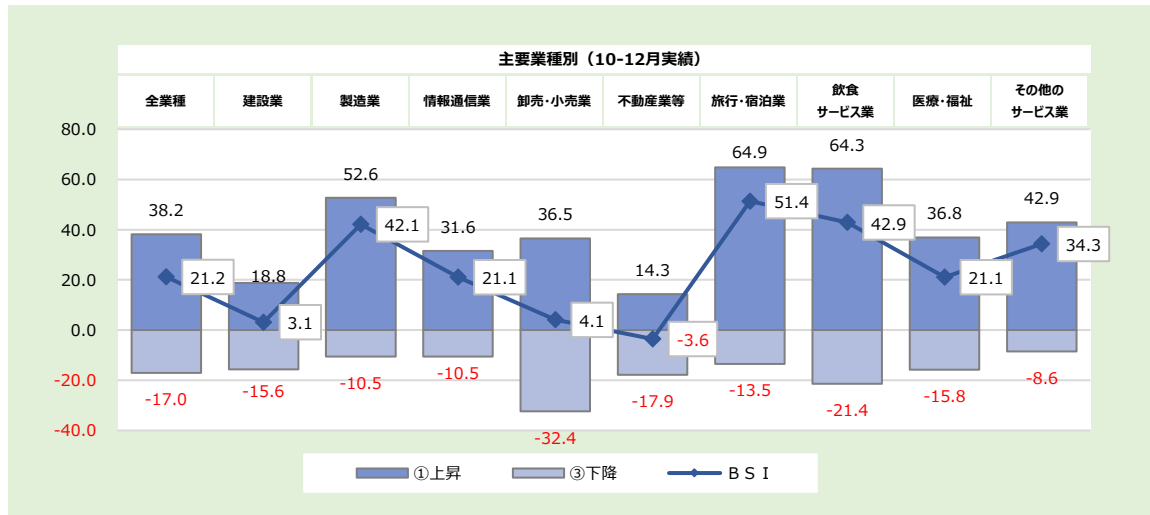
1-3月期景況の見通し：下降要因

景況見通し判断要因（下降）	回答数 (n=70)	構成比 (%)
県内需要（売上）の動向	45	64.3
県外需要（売上）の動向	26	37.1
海外需要（売上）の動向	3	4.3
販売価格の動向	13	18.6
仕入れ価格の動向	28	40.0
仕入れ以外のコストの動向	14	20.0
資金繰り・資金調達の動向	2	2.9
株式・不動産等の資産価格の動向	1	1.4
為替レートの動向	3	4.3
その他	3	4.3
無回答	2	2.9

【主要業種別 BSI】

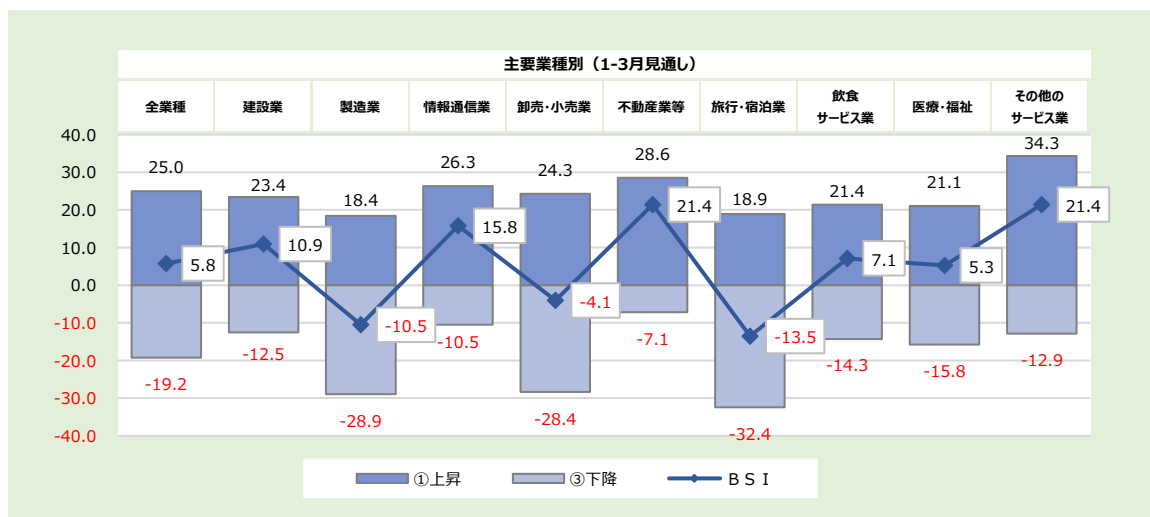
■ 2022年10-12月期の現状(2022年7-9月期との比較) 主要業種別 実績

- 全体では、21.2で「上昇」超となっている。
- 「上昇」超は、旅行・宿泊業(51.4)、飲食サービス業(42.9)、製造業(42.1)、その他のサービス業(34.3)、医療・福祉(21.1)、情報通信業(21.1)、卸売・小売業(4.1)、建設業(3.1)、となっている。
- 「下降」超は、不動産業等(-3.6)となっている。



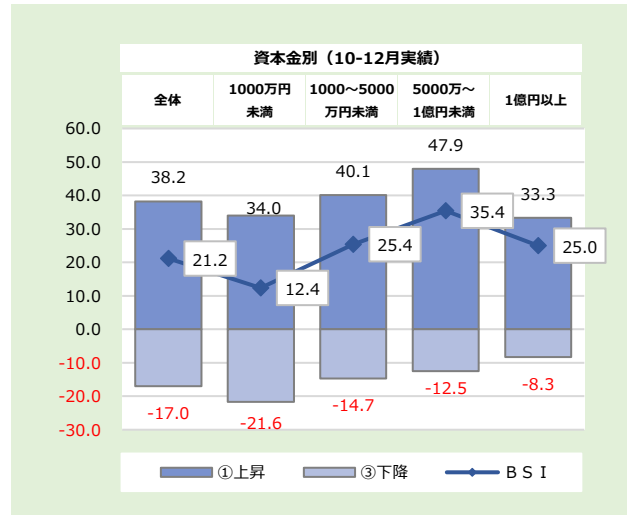
■ 2023年1-3月期の見通し(2022年10-12月期との比較) 主要業種別 見通し

- 全体では5.8で「上昇」超となっている。
- 「上昇」超は、不動産業等(21.4)、その他のサービス業(21.4)、情報通信業(15.8)、建設業(10.9)、飲食サービス業(7.1)、医療・福祉(5.3)、となっている。
- 「下降」超は、旅行・宿泊業(-13.5)、製造業(-10.5)、卸売・小売業(-4.1)となっている。



■ 2022年10-12月期の現状(2022年7-9月期との比較) **資本金別** **実績**

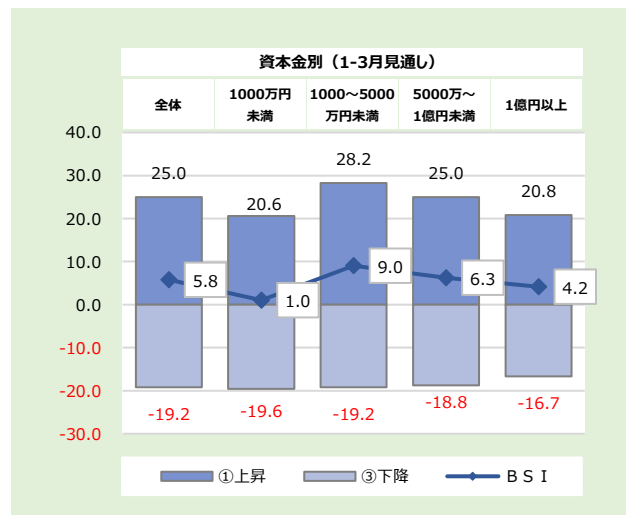
➤ 10-12月期の景況は、資本金規模に関わらず、全体として「上昇」超となっている。



■ 2023年1-3月期の見通し(2022年10-12月期との比較) **資本金別** **見通し**

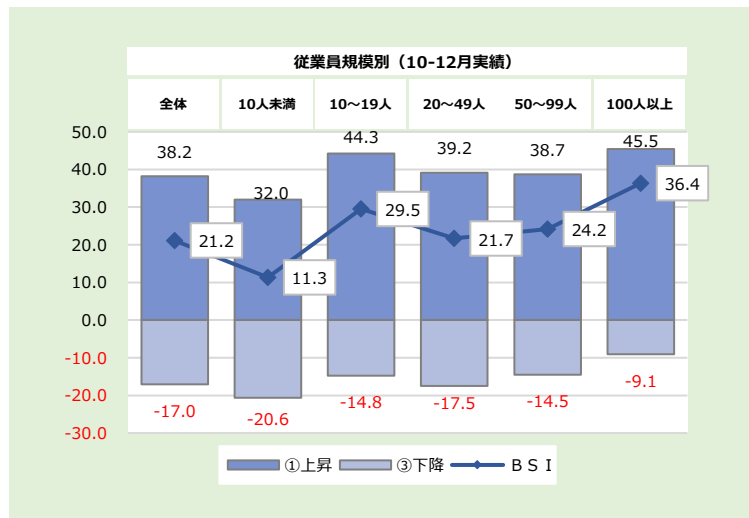
➤ 1-3月期の見通しは、資本金規模に関わらず、全体として「上昇」超となっている。

➤ 資本金1000万円未満において、「上昇」超幅が小さくなっている。



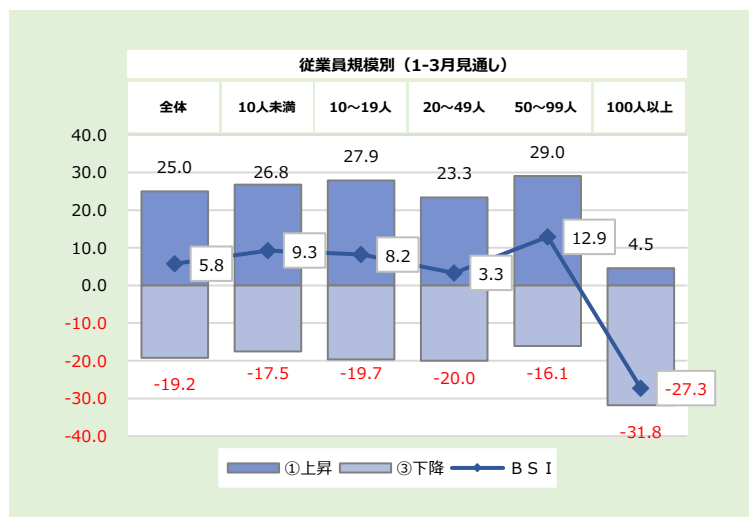
■ 2022年10-12月期の現状(2022年7-9月期との比較) 従業員数別 実績

➤ 10-12月期の景況は、従業員規模に関わらず全体として「上昇」超となっている。



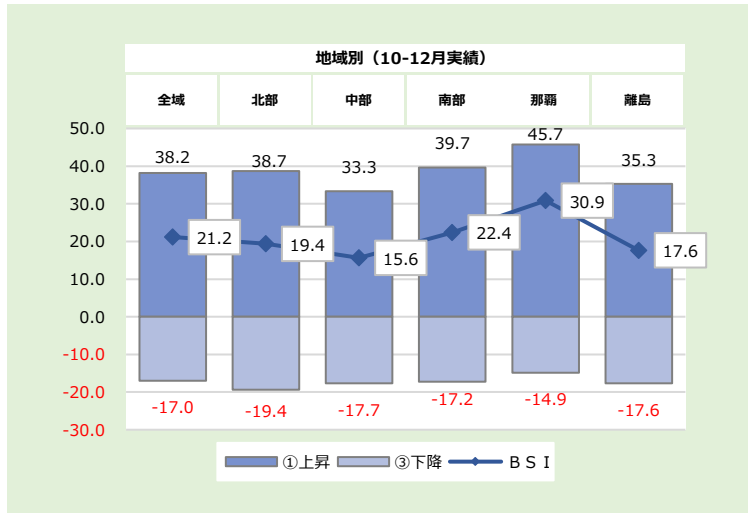
■ 2023年1-3月期の見通し(2022年10-12月期との比較) 従業員数別 見通し

- 1-3月期の見通しは、全体では「上昇」超となっている。
- 従業員数100人以上においては、「下降」超となっている。



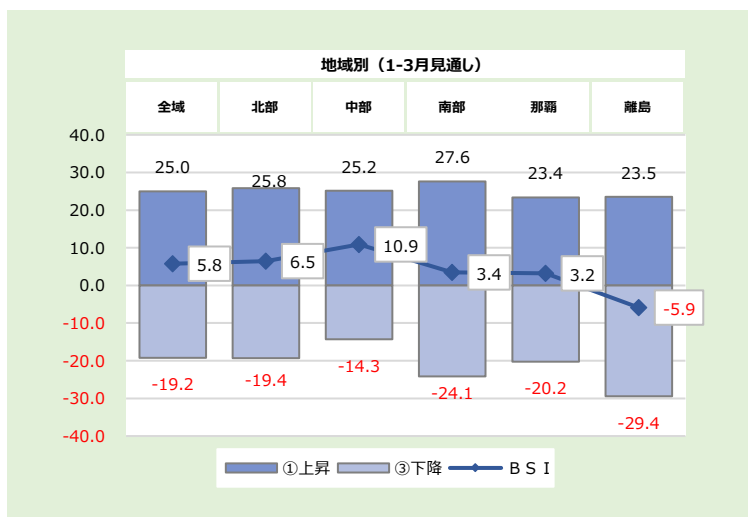
■ 2022年10-12月期の現状(2022年7-9月期との比較) 地域別 実績

- 10-12月期の景況は、全ての地域で「上昇」超となっている。
- 特に離島において上昇幅が大きくなっている。



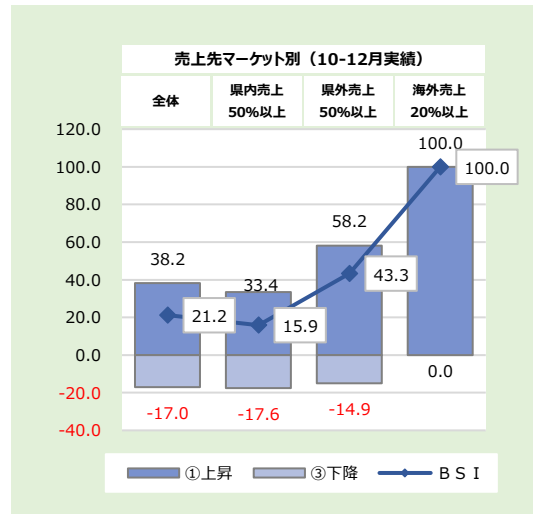
■ 2023年1-3月期の見通し(2022年10-12月期との比較) 地域別 見通し

- 1-3月期の景況見通しは、離島のみ「下降」超となっている。



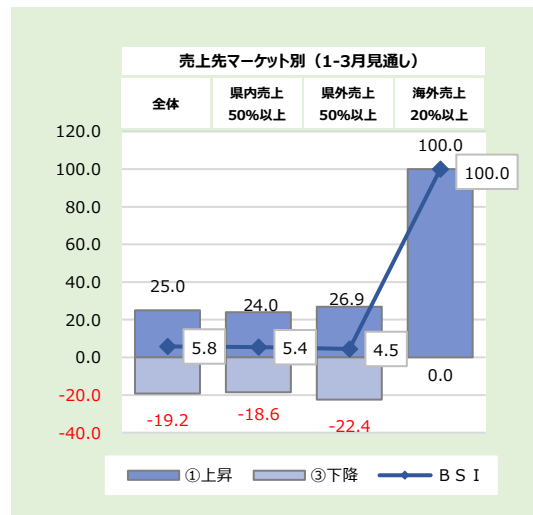
■ 2022年10-12月期の現状(2022年7-9月期との比較) 売上先マーケット別 実績

➤ 10-12月期の景況は、売上先マーケットに関わらず全て「上昇」超となっている。



■ 2023年1-3月期の見通し(2022年10-12月期との比較) 売上先マーケット別 見通し

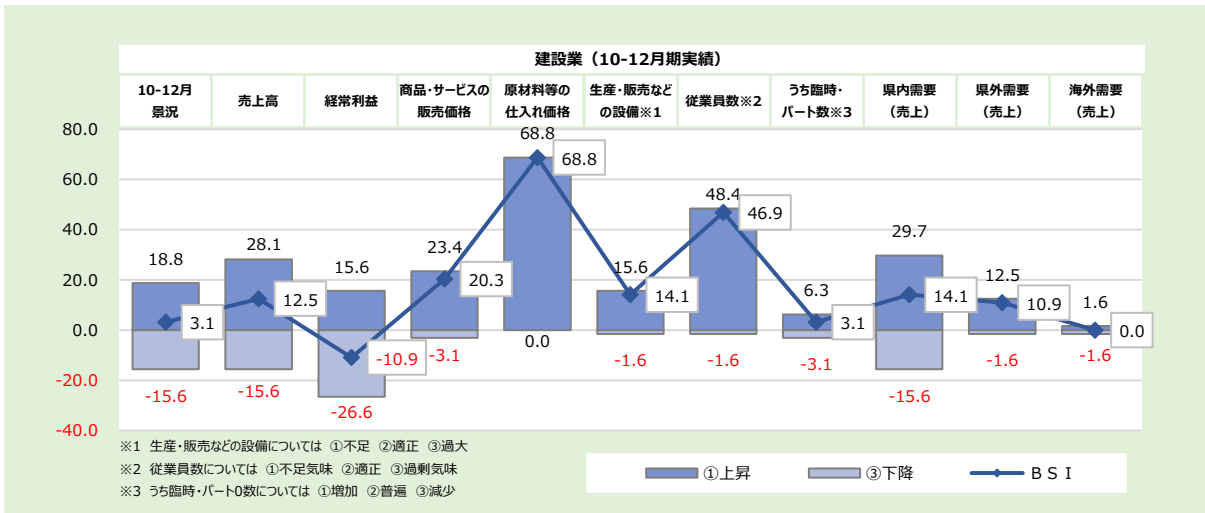
➤ 1-3月期の景況見通しは、売上先マーケットに関わらず全て「上昇」超となっている。



【主要業種別集計】

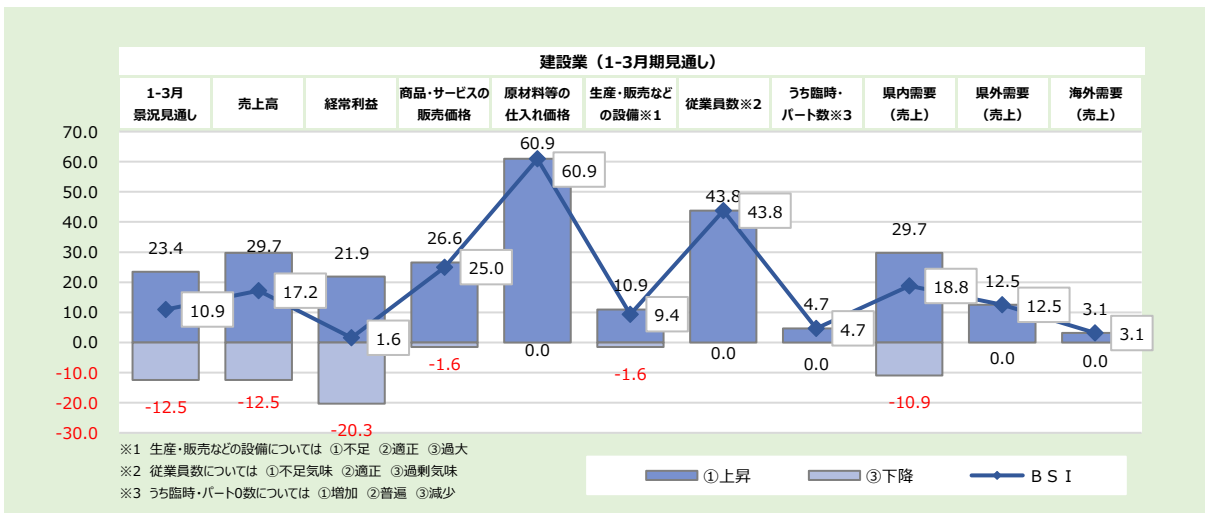
■ 2022年10-12月期の現状(2022年7-9月期との比較) **建設業** **実績**

- 10-12月期の景況は3.1で「上昇」超。売上高は「上昇」超、経常利益は「下降」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超。仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は「増加」超となっている。
- 県内需要、海外需要は共に「上昇」超。海外需要0.0となっている。



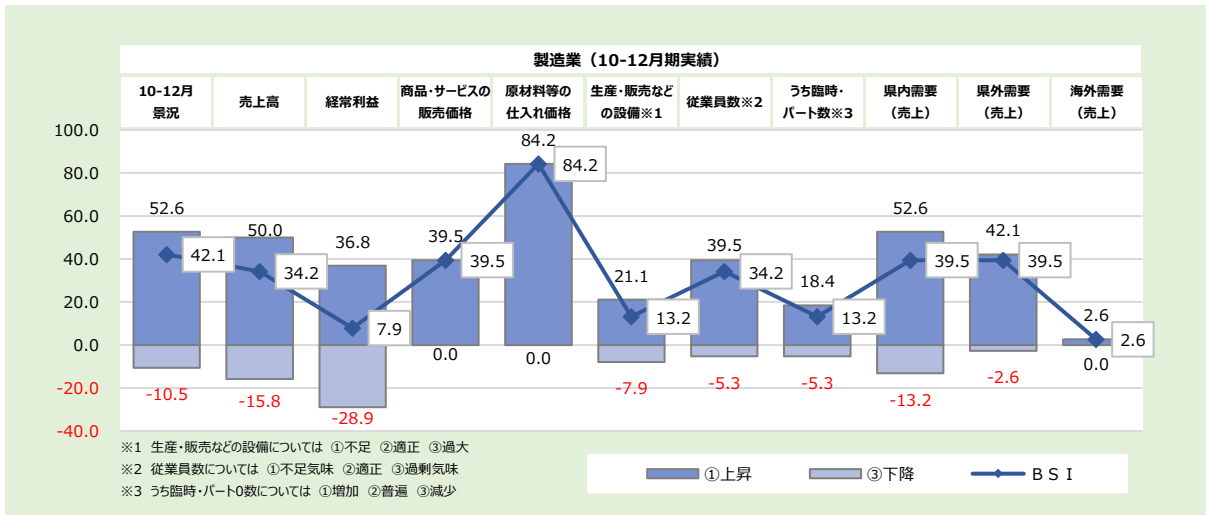
■ 2023年1-3月期の見通し(2022年10-12月期との比較) **建設業** **見通し**

- 1-3月期の景況見通しは10.9で「上昇」超。売上高は「上昇」超、経常利益は若干の「上昇」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超。仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は若干「増加」超となっている。
- 県内需要、県外需要は「上昇」超、海外需要は若干「上昇」超となっている。



■ 2022年10-12月期の現状(2022年7-9月期との比較) **製造業** **実績**

- 10-12月期の景況は42.1で大きく「上昇」超。売上高、経常利益も「上昇」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超。仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備、従業員数共に「不足」超。臨時・パート数は「増加」超となっている。
- 県内需要、県外需要は大きく「上昇」超、海外需要は若干「上昇」超となっている。



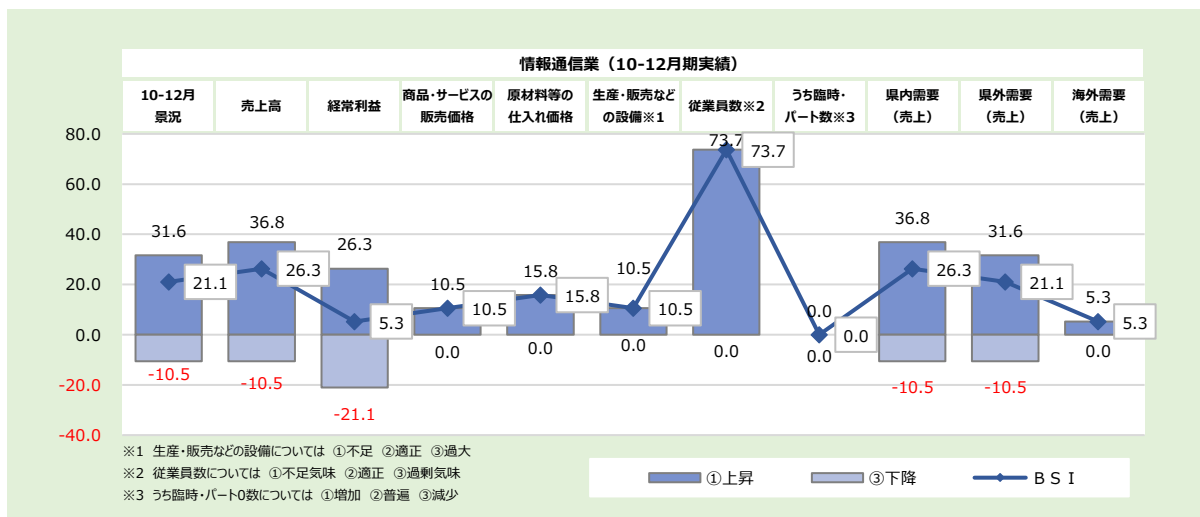
■ 2023年1-3月期の見通し(2022年10-12月期との比較) **製造業** **見通し**

- 1-3月期の景況見通しは-10.5で「下降」超。売上高は0.0、経常利益は「下降」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超。仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は「減少」超となっている。
- 県内需要は若干「下降」超、県外需要、海外需要は共に若干「上昇」超となっている。



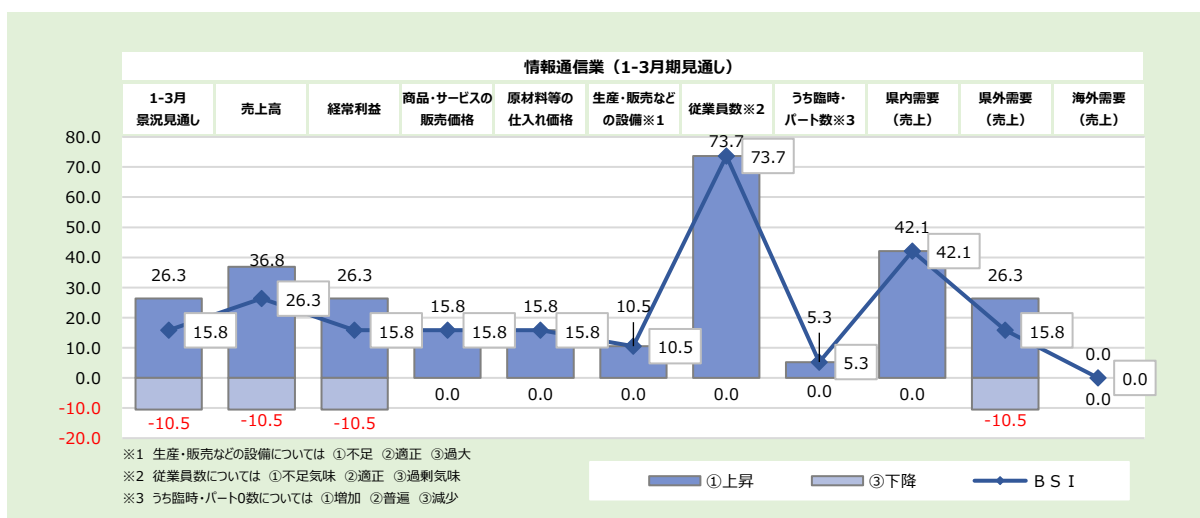
■ 2022年10-12月期の現状(2022年7-9月期との比較) **情報通信業** **実績**

- 10-12月期の景況は21.1で「上昇」超。売上高、経常利益共に「上昇」超となっている。
- 販売価格、仕入れ価格は共に「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は0.0となっている。
- 県内需要、県外需要、海外需要は共に「上昇」超となっている。



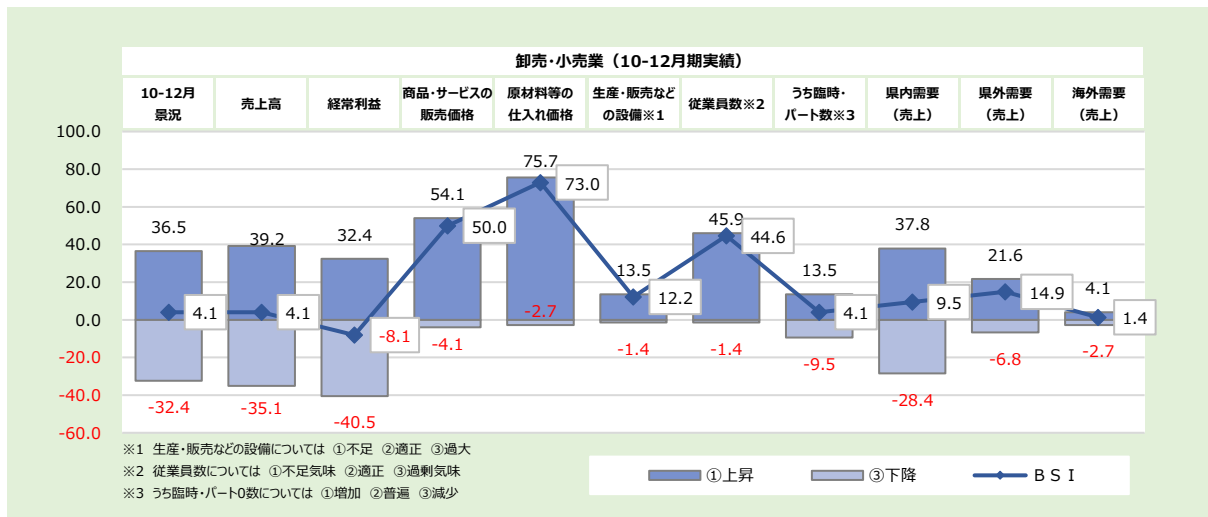
■ 2023年1-3月期の見通し(2022年10-12月期との比較) **情報通信業** **見通し**

- 1-3月期の景況見通しは15.8で「上昇」超。売上高、経常利益共に「上昇」超となっている。
- 販売価格、仕入れ価格は共に「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は「増加」超となっている。
- 県内需要、県外需要は共に「上昇」超。海外需要は0.0となっている。



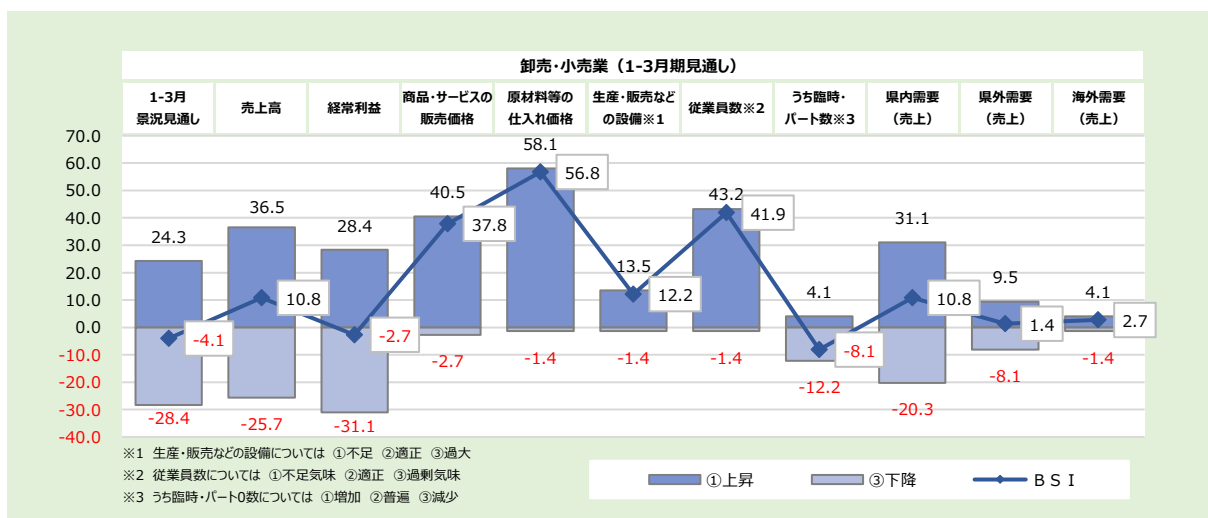
■ 2022年10-12月期の現状(2022年7-9月期との比較) **卸売・小売業** **実績**

- 10-12月期の景況は4.1で若干「上昇」超。売上高は「上昇」超、経常利益は「下降」超となっている。
- 販売価格、仕入れ価格共に大きく「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は若干「増加」超となっている。
- 県内需要、県外需要は共に「上昇」超。海外需要は若干「上昇」超となっている。



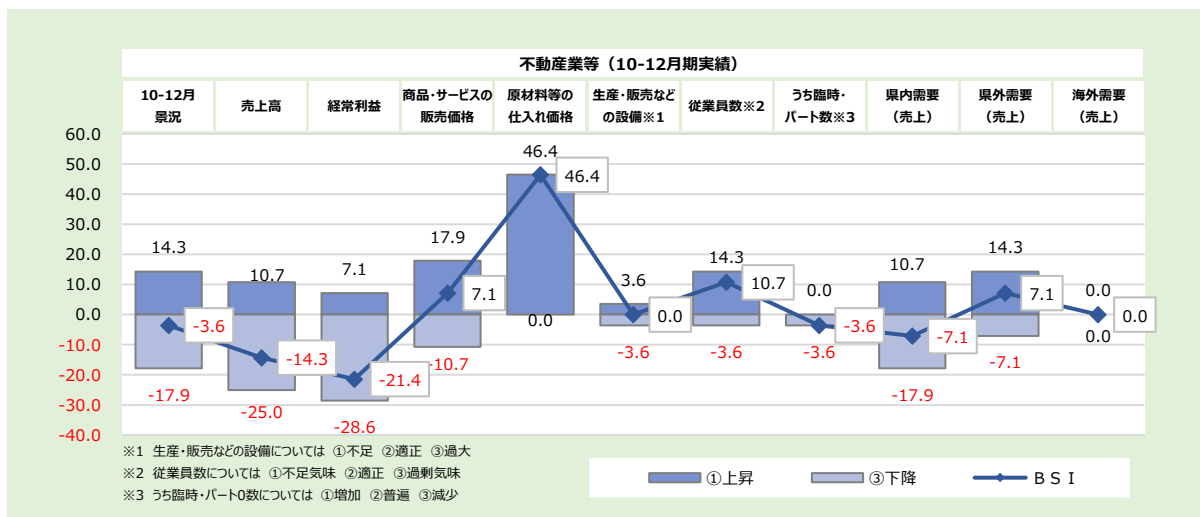
■ 2023年1-3月期の見通し(2022年10-12月期との比較) **卸売・小売業** **見通し**

- 1-3月期の景況見通しは-4.1で「下降」超。売上高は「上昇」超、経常利益共に若干「下降」超となっている。
- 販売価格、仕入れ価格共に大きく「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は「減少」超となっている。
- 県内需要は「上昇」超、県外需要、海外需要は共に若干「上昇」超となっている。



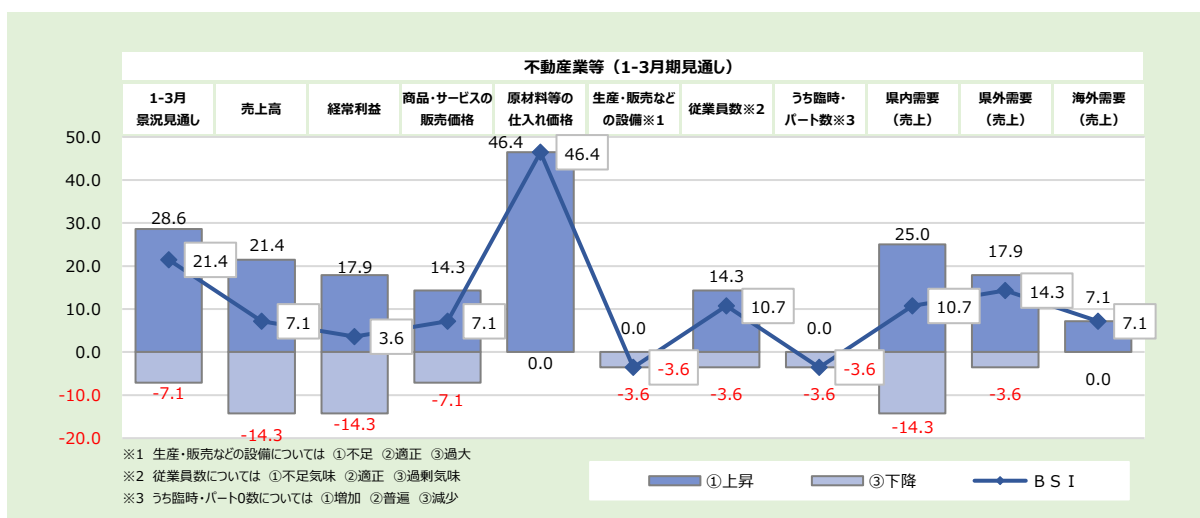
■ 2022年10-12月期の現状(2022年7-9月期との比較) **不動産業等** **実績**

- 10-12月期の景況は-3.6で若干「下降」超。売上高、経常利益共に「下降」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超、仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備は0.0、従業員数は「不足」超、臨時・パート数は若干「減少」超となっている。
- 県内需要は「下降」超、県外需要は「上昇」超、海外需要は0.0となっている。



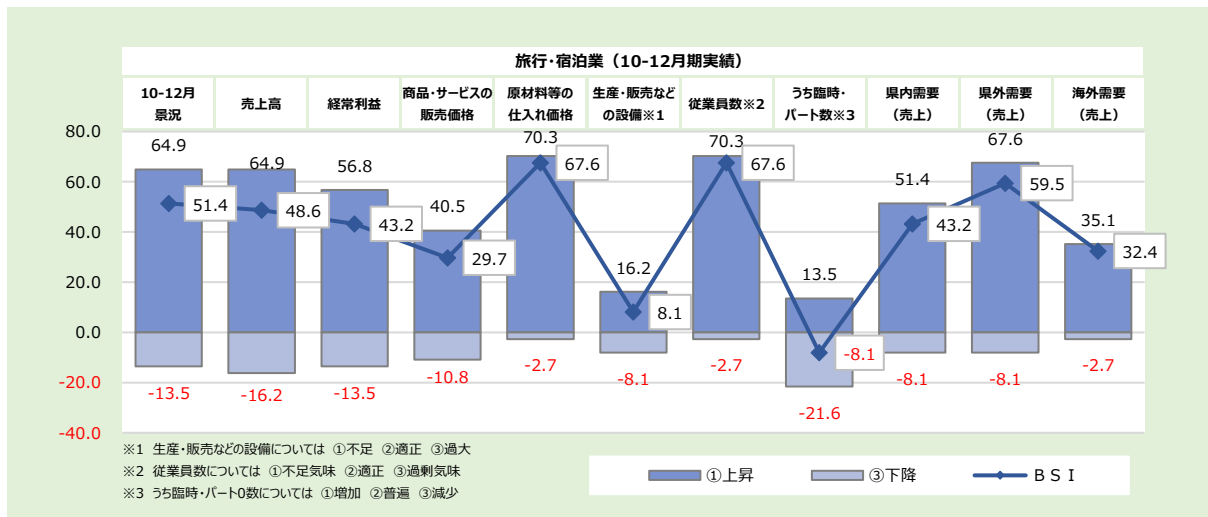
■ 2023年1-3月期の見通し(2022年10-12月期との比較) **不動産業等** **見通し**

- 1-3月期の景況見通しは21.4で「上昇」超。売上高は「上昇」超、経常利益は若干「上昇」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超、仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備は若干「過大」超、従業員数は「不足」超、臨時・パート数は若干「減少」超となっている。
- 県内需要、県外需要、海外需要共に「上昇」超となっている。



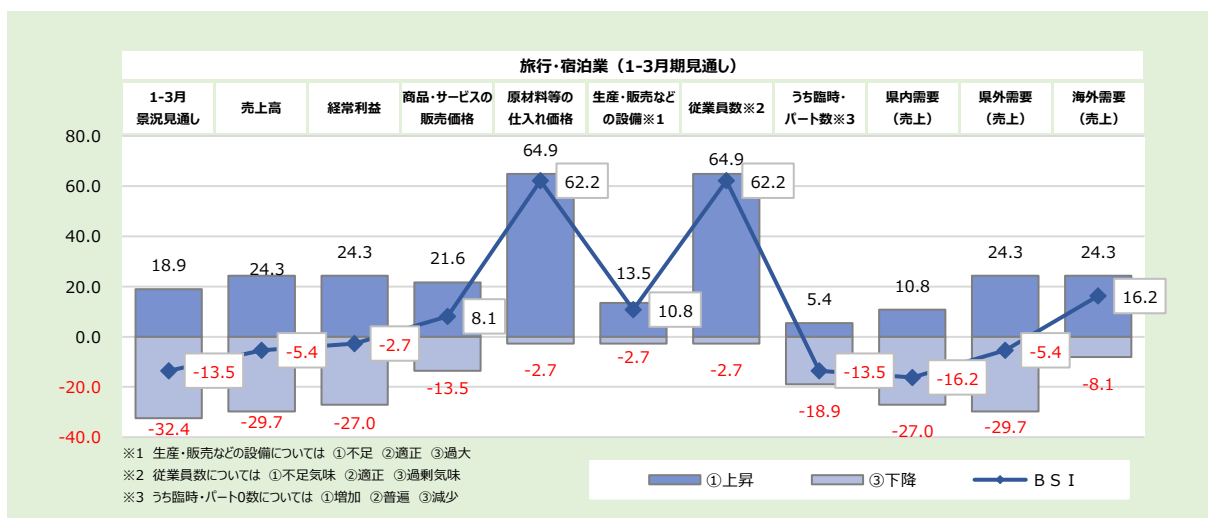
■ 2022年10-12月期の現状(2022年7-9月期との比較) **旅行・宿泊業** **実績**

- 10-12月期の景況は51.4で大きく「上昇」超。売上高、経常利益共に大きく「上昇」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超。仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超、臨時・パート数は「下降」超となっている。
- 県内需要、県外需要は大きく「上昇」超、海外需要も「上昇」超となっている。



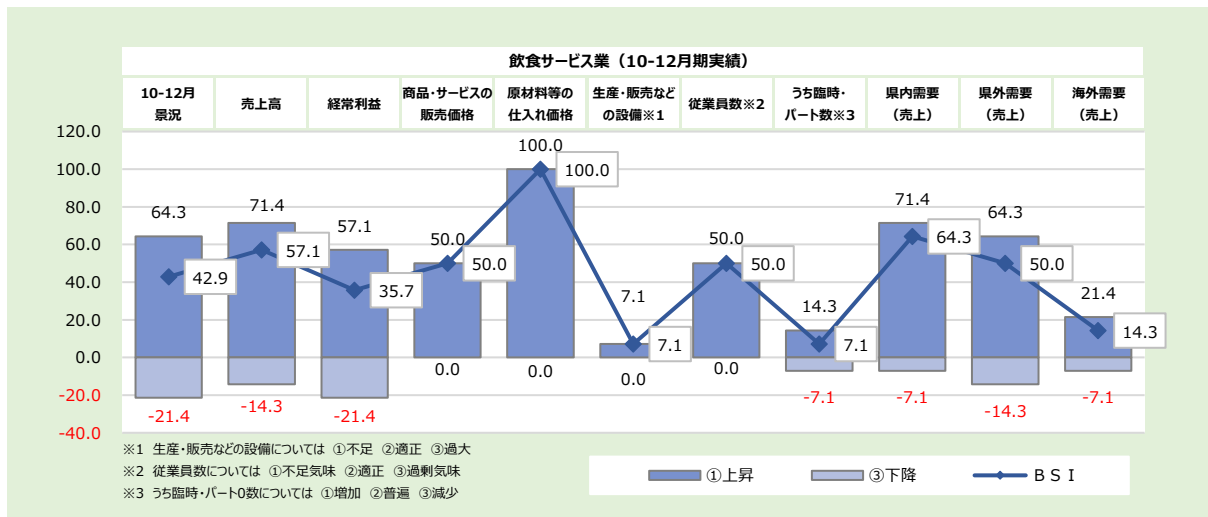
■ 2023年1-3月期の見通し(2022年10-12月期との比較) **旅行・宿泊業** **見通し**

- 1-3月期の景況見通しは-13.5で「上昇」超。売上高、経常利益共に「下降」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超、仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超、臨時・パート数は「減少」超となっている。
- 県内需要、県外需要は「下降」超、海外需要は「上昇」超となっている。



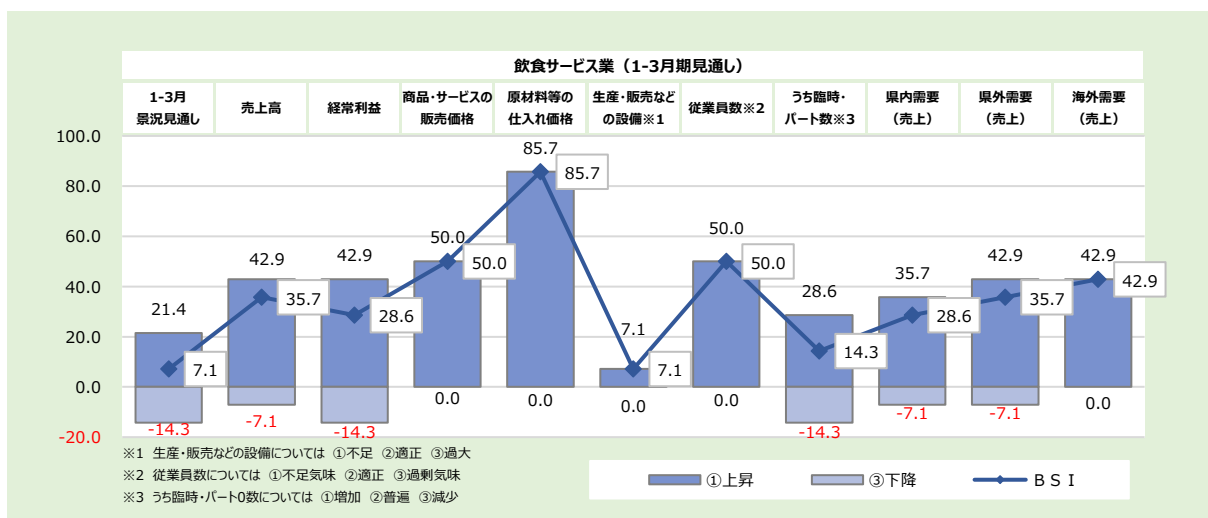
■ 2022年10-12月期の現状(2022年7-9月期との比較) **飲食サービス業** **実績**

- 10-12月期の景況は42.9で大きく「上昇」超。売上高、経常利益共に大きく「上昇」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超。仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は「増加」超となっている。
- 県内需要、県外需要は大きく「上昇」超。海外需要も「上昇」超となっている。



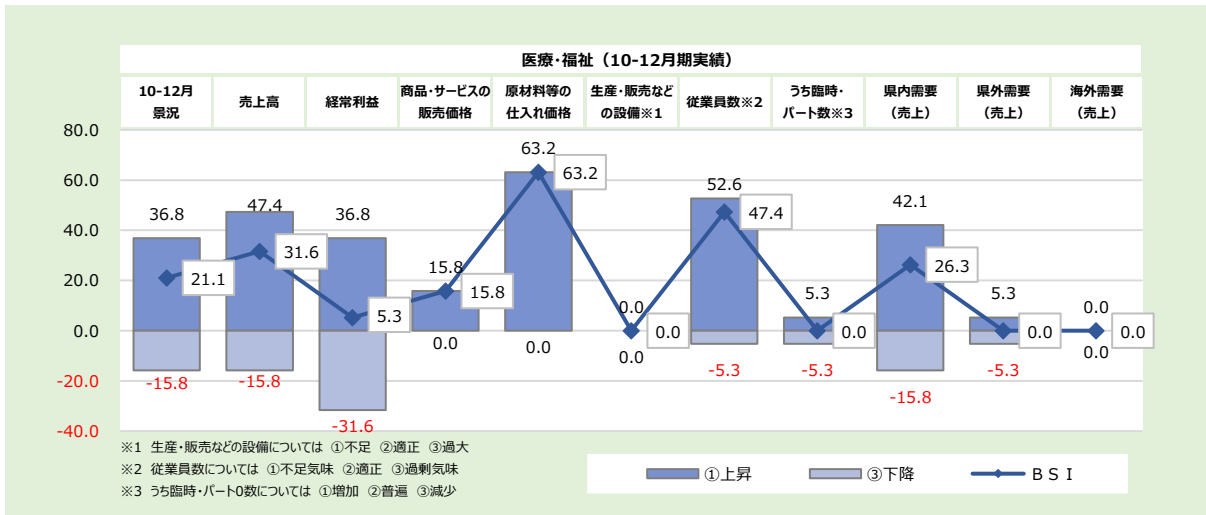
■ 2023年1-3月期の見通し(2022年10-12月期との比較) **飲食サービス業** **見通し**

- 1-3月期の景況見通しは7.1で「上昇」超。売上高、経常利益共に「上昇」超となっている。
- 販売価格、仕入れ価格共に大きく「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は「増加」超となっている。
- 県内需要、県外需要、海外需要は共に「上昇」超となっている。



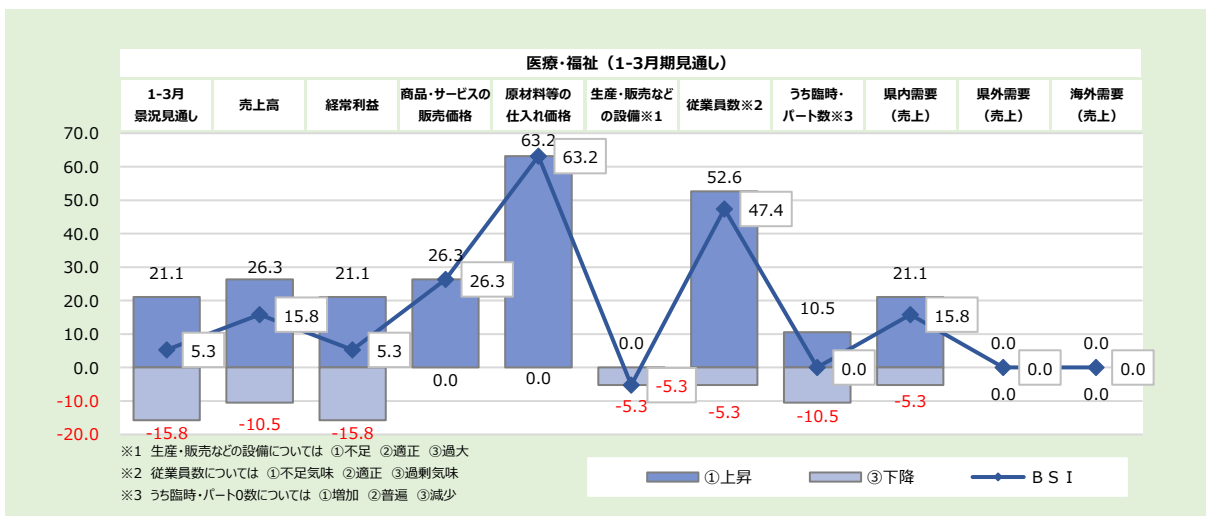
■ 2022年10-12月期の現状(2022年7-9月期との比較) **医療・福祉** **実績**

- 10-12月期の景況は21.1で「上昇」超。売上高、経常利益共に「上昇」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超、仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備は0.0、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は0.0となっている。
- 県内需要は「上昇」超、県外需要、海外需要は共に0.0となっている。



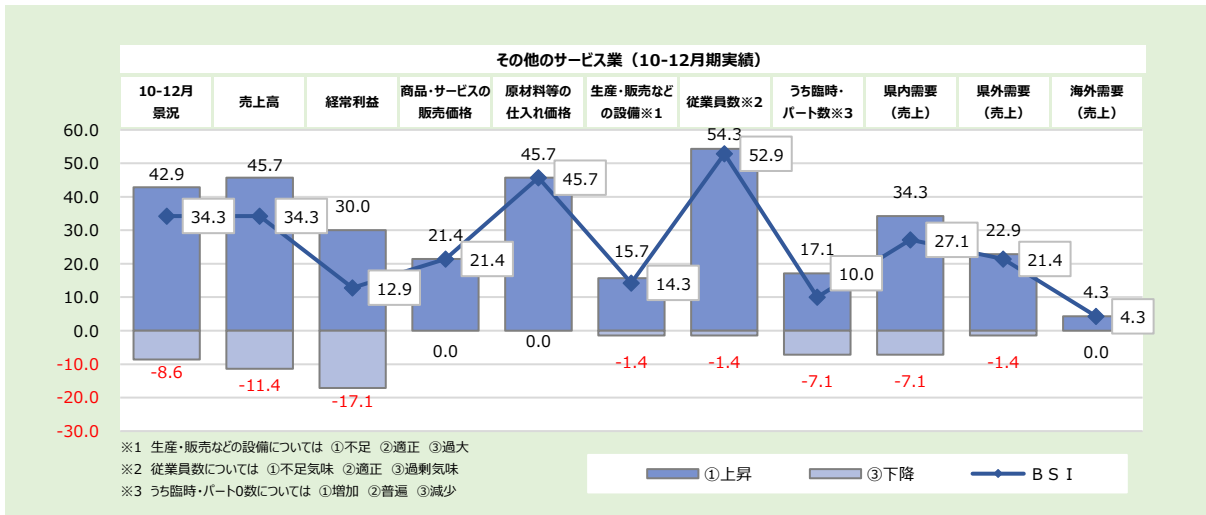
■ 2023年1-3月期の見通し(2022年10-12月期との比較) **医療・福祉** **見通し**

- 1-3月期の見通しは5.3で「上昇」超。売上高、経常利益共に「上昇」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超、仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備は「過大」超。従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は0.0となっている。
- 県内需要は「上昇」超、県外需要、海外需要は共に0.0となっている。



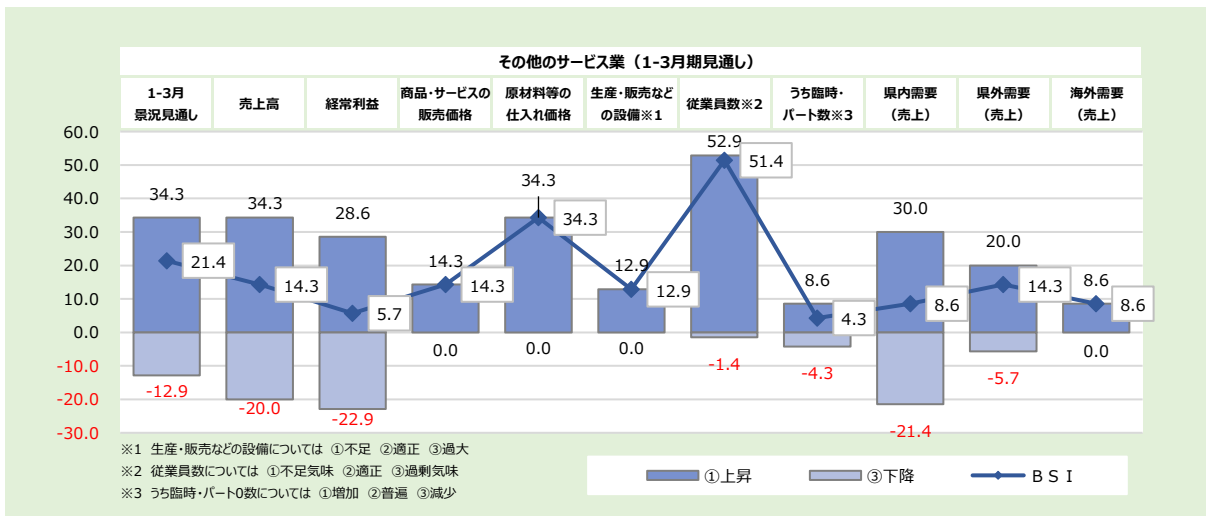
■ 2022年10-12月期の現状(2022年7-9月期との比較) **その他のサービス業** **実績**

- 10-12月期の景況は34.3で「上昇」超。売上高、経常利益共に「上昇」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超、仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超、パート数は「増加」超となっている。
- 県内需要、県外需要は「上昇」超。海外需要は若干の「上昇」超となっている。



■ 2023年1-3月期の見通し(2022年10-12月期との比較) **その他のサービス業** **見通し**

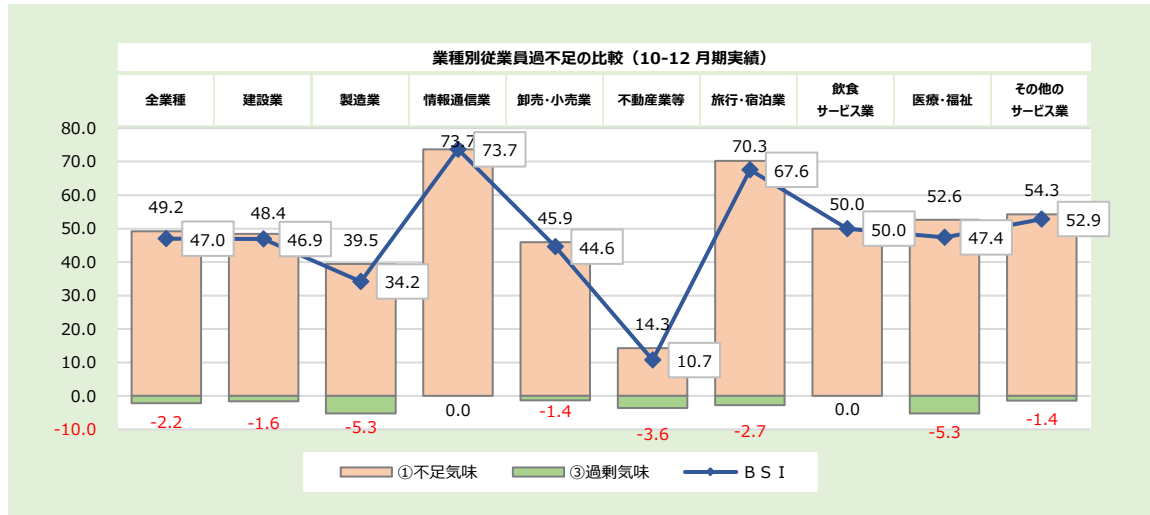
- 1-3月期の景況見通しは21.4で「上昇」超。売上高、経常利益は共に「上昇」超となっている。
- 販売価格、仕入れ価格共に「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超、臨時・パート数は若干「増加」超となっている。
- 県内需要、県外需要、海外需要共に「上昇」超となっている。



【雇用関連集計】

■ 2022年10-12月期の従業員数(2022年7-9月期との比較) 全体 従業員数実績

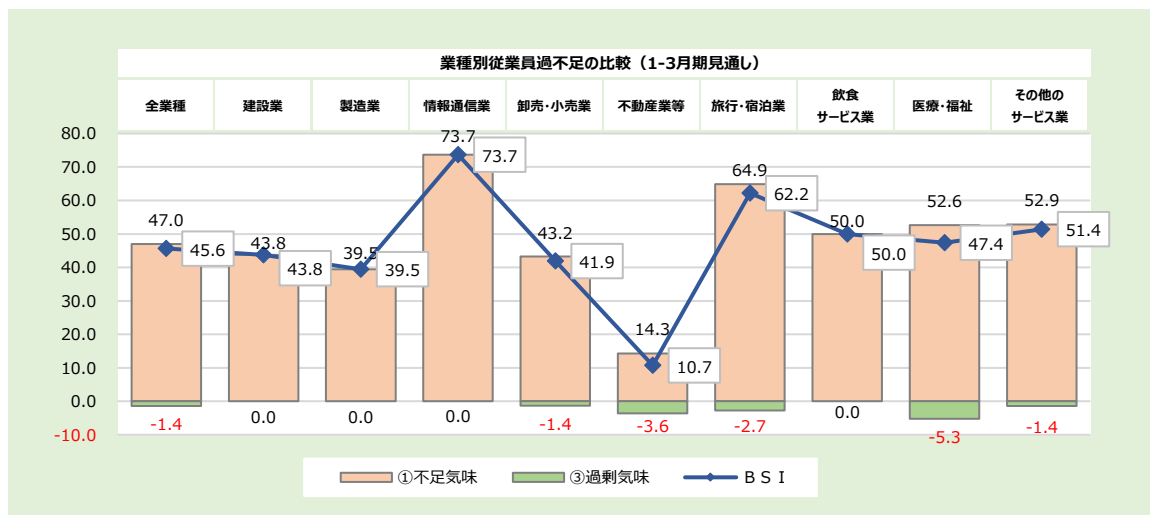
- 10-12月期の従業員BSIは47.0で大きく「不足」超となっている。
- 不動産業等を除き、いずれの業種も大きく「不足」超となっており、特に情報通信業、旅行・宿泊業で「不足」超幅が大きくなっている。



■ 2023年1-3月期の従業員数見通し(2022年10-12月期との比較)

全体 従業員数見通し

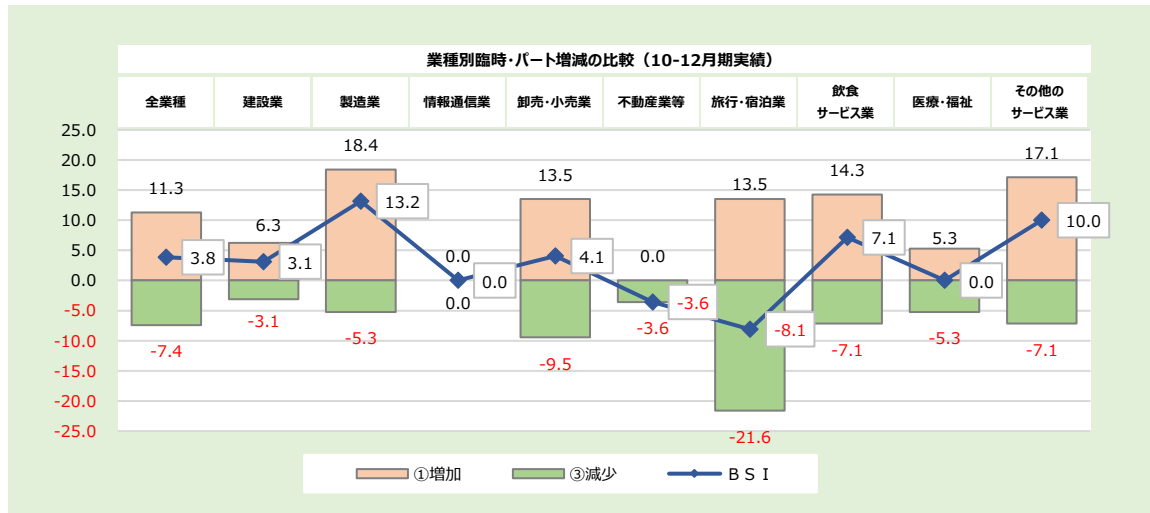
- 1-3月期の従業員の見通しBSIは45.6で大きく「不足」超となっている。
- 不動産業等を除き、いずれの業種も大きく「不足」超となっており、特に情報通信業、旅行・宿泊業で「不足」超幅が大きくなっている。



■ 2022年10-12月期の臨時・パート数(2022年7-9月期との比較)

全体 臨時・パート実績

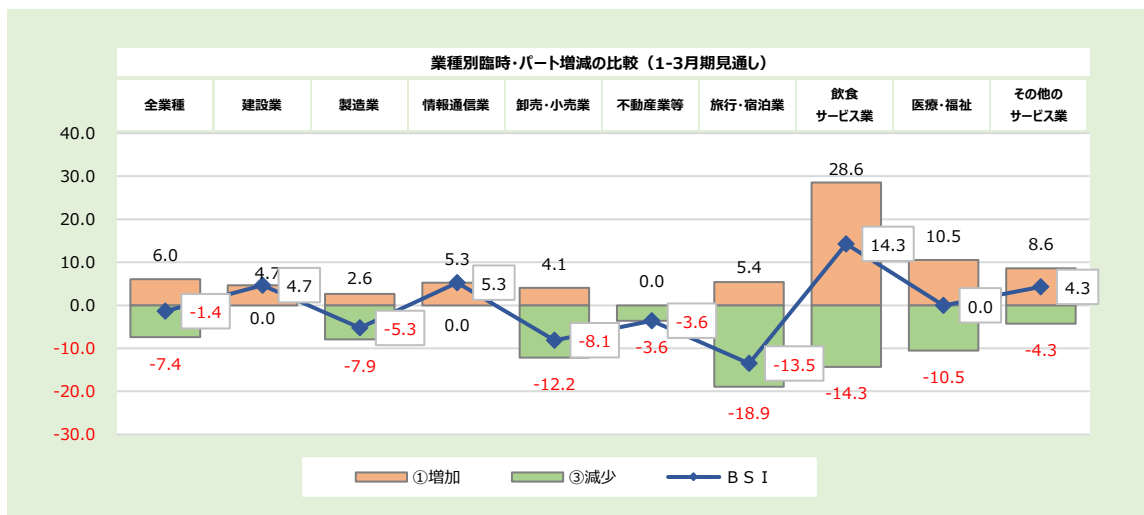
- 10-12月期の臨時・パートのBSIは3.8で「増加」超となっている。
- 製造業、その他のサービス業、飲食サービス業などで「増加」超幅が大きくなっている。



■ 2023年1-3月期の臨時・パート数見通し(2022年10-12月期との比較)

全体 臨時・パート見通し

- 1-3月期の臨時・パートの見通しBSIは1.4で若干「減少」超となっている。
- 飲食サービス業で特に「増加」超幅が大きくなっている。
- 旅行・宿泊業、卸売・小売業で「減少」超幅が大きくなっている。



主要業種別・項目別 BSI 一覧表

■全体BSI

時期	2021年			2022年				2023年	
	7-9月期	10-12月期	10-12月期	1-3月	4-6月期	7-9月期	10-12月期	10-12月	1-3月
	実績	(見通し)	実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)
景況BSI	-25.0	1.0	12.7	-23.1	9.9	21.6	8.5	21.2	5.8
売上高	-21.0	5.8	18.4	-21.0	9.1	24.1	11.7	22.3	11.5
経常利益	-27.8	-2.5	5.2	-30.1	-5.4	7.0	-2.0	4.4	1.9
商品・サービスの販売価格	-2.0	4.0	8.5	8.8	21.5	24.9	20.9	28.8	23.6
原材料等の仕入れ価格	23.0	24.0	41.0	45.7	62.2	58.2	53.0	62.9	52.5
生産・販売などの設備	0.8	2.3	6.2	1.8	6.4	9.7	6.0	10.7	8.8
従業員数	11.8	15.8	28.6	23.6	34.3	41.0	40.5	47.0	45.6
うち臨時・パート	-2.3	-1.3	-1.5	-3.9	-0.2	0.7	3.0	3.8	-1.4
県内需要(売上)	-20.3	8.8	20.9	-18.7	7.4	20.6	14.7	22.8	10.2
県外需要(売上)	-12.0	1.3	10.9	-12.7	13.3	18.4	7.0	22.8	8.2
海外需要(売上)	-7.3	-2.5	-2.7	-5.2	-0.2	0.5	1.7	5.5	6.9

■建設業BSI

時期	2021年			2022年				2023年	
	7-9月期	10-12月期	10-12月期	1-3月	4-6月期	7-9月期	10-12月期	10-12月	1-3月
	実績	(見通し)	実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)
景況BSI	-28.8	8.5	-9.6	13.1	-18.1	-1.5	2.9	3.1	10.9
売上高	-13.6	13.6	5.5	13.1	-18.1	-2.9	11.8	12.5	17.2
経常利益	-23.7	5.1	-8.2	-3.3	-22.2	-17.6	-4.4	-10.9	1.6
商品・サービスの販売価格	-1.7	8.5	6.8	23.0	20.8	0.0	14.7	20.3	25.0
原材料等の仕入れ価格	37.3	28.8	46.6	57.4	79.2	66.2	55.9	68.8	60.9
生産・販売などの設備	5.1	6.8	11.0	13.1	6.9	11.8	10.3	14.1	9.4
従業員数	10.2	20.3	39.7	52.5	44.4	42.6	48.5	46.9	43.8
うち臨時・パート	-5.1	-3.4	4.1	-1.6	-4.2	-4.4	2.9	3.1	4.7
県内需要(売上)	-16.9	11.9	1.4	4.9	-19.4	0.0	7.4	14.1	18.8
県外需要(売上)	-6.8	-1.7	-6.8	3.3	-4.2	-1.5	2.9	10.9	12.5
海外需要(売上)	-1.7	0.0	-1.4	0.0	-1.4	0.0	0.0	0.0	3.1

■製造業BSI

時期	2021年			2022年				2023年	
	7-9月期	10-12月期	10-12月期	1-3月	4-6月期	7-9月期	10-12月期	10-12月	1-3月
	実績	(見通し)	実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)
景況BSI	-22.7	6.8	11.8	-36.6	5.3	20.0	6.7	42.1	-10.5
売上高	-22.7	11.4	23.5	-31.7	5.3	20.0	20.0	34.2	0.0
経常利益	-34.1	0.0	14.7	-41.5	-13.2	2.2	-6.7	7.9	-10.5
商品・サービスの販売価格	0.0	9.1	2.9	9.8	26.3	23.5	26.7	39.5	31.6
原材料等の仕入れ価格	36.4	34.1	55.9	63.4	97.4	66.7	75.6	84.2	60.5
生産・販売などの設備	-4.5	2.3	0.0	4.9	-5.3	11.1	11.1	13.2	7.9
従業員数	0.0	2.3	8.8	9.8	18.4	28.9	26.7	34.2	39.5
うち臨時・パート	2.3	9.1	0.0	-4.9	-2.6	4.4	0.0	13.2	-5.3
県内需要(売上)	-22.7	13.6	11.8	-39.0	-5.3	22.2	11.1	39.5	-2.6
県外需要(売上)	-6.8	11.4	35.3	-19.5	0.0	22.2	8.9	39.5	2.6
海外需要(売上)	2.3	4.5	2.9	-7.3	-7.9	6.7	6.7	2.6	2.6

■情報通信業BSI

時期	2021年			2022年				2023年	
	7-9月期	10-12月期	10-12月期	1-3月	4-6月期	7-9月期	10-12月期	10-12月	1-3月
	実績	(見通し)	実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)
景況BSI	-15.8	-5.3	4.8	0.0	0.0	-5.0	20.0	21.1	15.8
売上高	-10.5	5.3	9.5	0.0	4.8	0.0	20.0	26.3	26.3
経常利益	-15.8	5.3	-9.5	5.6	-4.8	-15.0	25.0	5.3	15.8
商品・サービスの販売価格	-5.3	-5.3	4.8	5.6	4.8	28.9	15.0	10.5	15.8
原材料等の仕入れ価格	0.0	0.0	4.8	11.1	4.8	15.0	20.0	15.8	15.8
生産・販売などの設備	0.0	0.0	14.3	5.6	14.3	10.0	0.0	10.5	10.5
従業員数	21.1	15.8	28.6	38.9	61.9	65.0	70.0	73.7	73.7
うち臨時・パート	5.3	0.0	4.8	0.0	9.5	5.0	0.0	0.0	5.3
県内需要(売上)	5.3	5.3	9.5	-11.1	-4.8	10.0	25.0	26.3	42.1
県外需要(売上)	10.5	5.3	14.3	16.7	14.3	0.0	15.0	21.1	15.8
海外需要(売上)	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	-5.0	5.3	0.0

■卸売・小売業BSI

時期	2021年			2022年				2023年	
	7-9月期	10-12月期	10-12月期	1-3月	4-6月期	7-9月期	10-12月期	10-12月	1-3月
	実績	(見通し)	実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)
景況BSI	-37.0	-3.7	11.7	-22.4	4.0	28.0	12.0	4.1	-4.1
売上高	-34.6	-3.7	10.4	-20.9	9.3	38.7	18.7	4.1	10.8
経常利益	-32.1	-19.8	3.9	-38.8	-8.0	25.3	6.7	-8.1	-2.7
商品・サービスの販売価格	9.9	13.6	27.3	31.3	50.7	5.0	48.0	50.0	37.8
原材料等の仕入れ価格	34.6	37.0	50.6	65.7	72.0	69.3	62.7	73.0	56.8
生産・販売などの設備	4.9	8.6	9.1	4.5	6.7	6.7	2.7	12.2	12.2
従業員数	16.0	19.8	22.1	25.4	32.0	38.7	40.0	44.6	41.9
うち臨時・パート	-2.5	-1.2	1.3	-7.5	1.3	-2.7	5.3	4.1	-8.1
県内需要(売上)	-35.8	-3.7	20.8	-11.9	1.3	29.3	21.3	9.5	10.8
県外需要(売上)	-8.6	-6.2	11.7	-14.9	20.0	20.0	13.3	14.9	1.4
海外需要(売上)	-4.9	-3.7	-1.3	-6.0	1.3	0.0	2.7	1.4	2.7

■不動産業等BSI

時期	2021年			2022年				2023年	
	7-9月期	10-12月期	10-12月期	1-3月	4-6月期	7-9月期	10-12月期	10-12月	1-3月
	実績	(見通し)	実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)
景況BSI	-6.7	-3.3	-15.6	6.1	17.1	14.3	3.6	-3.6	21.4
売上高	3.3	0.0	-9.4	-6.1	8.6	25.0	10.7	-14.3	7.1
経常利益	-6.7	0.0	-31.3	-6.1	-2.9	10.7	-3.6	-21.4	3.6
商品・サービスの販売価格	-3.3	-6.7	0.0	9.1	14.3	46.7	-3.6	7.1	7.1
原材料等の仕入れ価格	16.7	6.7	12.5	15.2	25.7	28.6	25.0	46.4	46.4
生産・販売などの設備	-3.3	-6.7	0.0	0.0	5.7	3.6	3.6	0.0	-3.6
従業員数	16.7	16.7	6.3	12.1	20.0	25.0	25.0	10.7	10.7
うち臨時・パート	-6.7	0.0	0.0	3.0	5.7	0.0	-7.1	-3.6	-3.6
県内需要(売上)	-3.3	-6.7	-6.3	-6.1	8.6	17.9	10.7	-7.1	10.7
県外需要(売上)	-3.3	0.0	12.5	3.0	14.3	17.9	10.7	7.1	14.3
海外需要(売上)	-3.3	-3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1

■旅行・宿泊業BSI

時期	2021年			2022年				2023年	
	7-9月期	10-12月期	10-12月期	1-3月	4-6月期	7-9月期	10-12月期	10-12月	1-3月
	実績	(見通し)	実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)
景況BSI	-25.0	-2.5	44.1	-41.7	58.1	73.5	8.8	51.4	-13.5
売上高	-27.5	0.0	41.2	-41.7	58.1	82.4	-2.9	48.6	-5.4
経常利益	-42.5	-5.0	35.3	-41.7	41.9	58.8	-8.8	43.2	-2.7
商品・サービスの販売価格	-20.0	-20.0	0.0	-22.9	9.7	14.3	0.0	29.7	8.1
原材料等の仕入れ価格	7.5	12.5	32.4	37.5	67.7	76.5	52.9	67.6	62.2
生産・販売などの設備	-5.0	-5.0	5.9	-12.5	19.4	11.8	-2.9	8.1	10.8
従業員数	-15.0	-12.5	32.4	12.5	41.9	50.0	41.2	67.6	62.2
うち臨時・パート	-12.5	-7.5	-17.6	-10.4	-6.5	0.0	2.9	-8.1	-13.5
県内需要(売上)	-27.5	17.5	70.6	-33.3	51.6	64.7	8.8	43.2	-16.2
県外需要(売上)	-37.5	7.5	23.5	-41.7	51.6	64.7	8.8	59.5	-5.4
海外需要(売上)	-20.0	-10.0	-5.9	-12.5	-9.7	2.9	2.9	32.4	16.2

■飲食サービス業BSI

時期	2021年			2022年				2023年	
	7-9月期	10-12月期	10-12月期	1-3月	4-6月期	7-9月期	10-12月期	10-12月	1-3月
	実績	(見通し)	実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)
景況BSI	-41.2	-29.4	57.9	-71.4	40.0	33.3	-14.3	42.9	7.1
売上高	-52.9	-29.4	47.4	-57.1	46.7	28.6	-19.0	57.1	35.7
経常利益	-64.7	-29.4	15.8	-71.4	0.0	0.0	-33.3	35.7	28.6
商品・サービスの販売価格	-11.8	11.8	-5.3	-7.1	40.0	41.2	23.8	50.0	50.0
原材料等の仕入れ価格	5.9	47.1	84.2	42.9	93.3	71.4	61.9	100.0	85.7
生産・販売などの設備	0.0	-11.8	0.0	0.0	0.0	19.0	0.0	7.1	7.1
従業員数	-17.6	11.8	47.4	14.3	33.3	33.3	23.8	50.0	50.0
うち臨時・パート	-5.9	-11.8	-26.3	-42.9	6.7	-4.8	9.5	7.1	14.3
県内需要(売上)	-52.9	-5.9	47.4	-57.1	60.0	19.0	4.8	64.3	28.6
県外需要(売上)	-47.1	-17.6	21.1	-42.9	53.3	42.9	-4.8	50.0	35.7
海外需要(売上)	-52.9	-17.6	-31.6	-35.7	20.0	-9.5	-4.8	14.3	42.9

■医療・福祉BSI

時期	2021年			2022年				2023年	
	7-9月期	10-12月期	10-12月期	1-3月	4-6月期	7-9月期	10-12月期	10-12月	1-3月
	実績	(見通し)	実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)
景況BSI	-4.8	0.0	-4.3	-43.8	-14.3	-9.1	-4.5	21.1	5.3
売上高	4.8	14.3	8.7	-43.8	-19.0	-27.3	-9.1	31.6	15.8
経常利益	-14.3	0.0	0.0	-50.0	-23.8	-36.4	-22.7	5.3	5.3
商品・サービスの販売価格	0.0	0.0	4.3	0.0	-4.8	28.6	9.1	15.8	26.3
原材料等の仕入れ価格	9.5	19.0	26.1	37.5	38.1	45.5	45.5	63.2	63.2
生産・販売などの設備	4.8	4.8	0.0	0.0	-4.8	13.6	9.1	0.0	-5.3
従業員数	33.3	28.6	43.5	25.0	61.9	40.9	40.9	47.4	47.4
うち臨時・パート	-14.3	-9.5	17.4	18.8	4.8	-4.5	0.0	0.0	0.0
県内需要(売上)	-4.8	19.0	0.0	-37.5	-4.8	-22.7	-4.5	26.3	15.8
県外需要(売上)	-4.8	0.0	-8.7	-6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
海外需要(売上)	-4.8	4.8	0.0	0.0	0.0	-4.5	-4.5	0.0	0.0

■その他のサービス業BSI

時期	2021年			2022年				2023年	
	7-9月期	10-12月期	10-12月期	1-3月	4-6月期	7-9月期	10-12月期	10-12月	1-3月
	実績	(見通し)	実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)
景況BSI	-18.8	1.6	26.1	-36.0	20.0	29.5	18.2	34.3	21.4
売上高	-15.6	6.3	33.0	-27.9	15.8	30.7	18.2	34.3	14.3
経常利益	-15.6	3.1	17.0	-36.0	-2.1	10.2	5.7	12.9	5.7
商品・サービスの販売価格	0.0	3.1	6.8	3.5	10.5	-4.5	19.3	21.4	14.3
原材料等の仕入れ価格	14.1	17.2	38.6	38.4	52.6	50.0	46.6	45.7	34.3
生産・販売などの設備	-1.6	1.6	5.7	-1.2	8.4	8.0	9.1	14.3	12.9
従業員数	23.4	26.6	30.7	16.3	26.3	45.5	43.2	52.9	51.4
うち臨時・パート	7.8	0.0	-4.5	-1.2	-2.1	6.8	4.5	10.0	4.3
県内需要(売上)	-6.3	9.4	33.0	-18.6	18.9	27.3	26.1	27.1	8.6
県外需要(売上)	-9.4	0.0	12.5	-10.5	9.5	17.0	5.7	21.4	14.3
海外需要(売上)	-6.3	-3.1	-2.3	-2.3	1.1	1.1	4.5	4.3	8.6

—— 本資料のご利用に際して ——

- ・ 本資料は弊社の著作物であり、著作権法により保護されております。著作権法の定めに従い、引用する際には、必ず出所・株式会社海邦総研と明記してください。
- ・ 本資料は、弊社 HP (<http://www.kaiho-ri.jp/>) においても公表しております。
- ・ 本調査に関する問い合わせは、弊社・地域経済調査部・瀬川、当銘までご連絡ください。

TEL:098-869-8724 E-mail:sonshu_segawa@kaiho-ri.jp